

ディスコグラフィー収録

ディスコグラフィー【2019No.126】(HP 収録)

分類：MQA-CD

作曲家：Berlioz

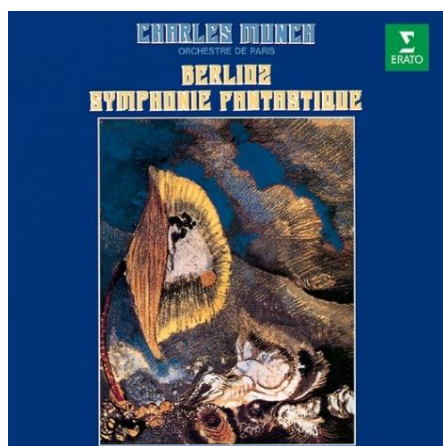
曲：幻想交響曲

演奏：ミュンシュ指揮パリ管弦楽団

発売：ワーナーミュージック

No.：WPCS-28421

概要：



収録曲

- M-1 Symphonie fantastique, Op. 14, H. 48 I. Reveries - Passions / 幻想交響曲  
作品 14 第 1 楽章：夢と情熱
- M-2 Symphonie fantastique, Op. 14, H. 48 II. Un bal / 幻想交響曲作品 14 第 2  
楽章：舞踏会
- M-3 Symphonie fantastique, Op. 14, H. 48 III. Scene aux champs / 幻想交響曲  
作品 14 第 3 楽章：野の風景
- M-4 Symphonie fantastique, Op. 14, H. 48 IV. Marche au supplice / 幻想交響  
曲作品 14 第 4 楽章：断頭台への行進
- M-5 Symphonie fantastique, Op. 14, H. 48 V. Songe d'une nuit de Sabbat / 幻  
想交響曲作品 14 第 5 楽章：サバの夜の夢

サイトの解説は以下のとおりです。

「1967年作品、アナログ・テープを基にした2018年96kHz/24bitマスターを176.4kHz/24bitに変換して収録

Recorded: 23-26 October 1967, Salle Wagram, Paris

Producer: Rene Challan

Balance Engineer: Paul Vavasseur」

【曲目】

ベルリオーズ:幻想交響曲

【演奏】

シャルル・ミュンシュ指揮パリ管弦楽団

【録音】

1967年10月

対応するミュンシュ指揮ボストンシンフォニーのCDとも聴き比べてみました。



今回のミュンシュ指揮パリ管のMQA-CDは、細かい音はでていないものの、元がエラート盤のためか、煌びやかで高域にエネルギーが寄った印象です。

ミュンシュ指揮ボストンシンフォニーのCDは、細かい音の再現では一歩譲るものの、響きが豊かです。

なお、同じMQA-CDのレーベル違いの比較という点で、Universal MusicのMQA-CDとの比較ですが、ワーナーミュージックのMQA-CDの方が、肌理が粗く、ワンランク下がるようです。Universal Musicの方は2.8MHzDSDのリマスターから352.8kHzMQAにエンコードされているのに対し、ワーナーミュージックの方は96kHzのPCMリマスターから176.4kHzMQAにエンコードされているからではないかと思われます。

以上

